ムレキサイド指示薬　ムレキサイド色素0.2～0.4gを硫酸カリウム〔特級〕100g(99.5～100.4g)と粉砕混合する。
メタ過ヨウ素酸ナトリウム　$NaIO_4$〔特級〕
メタノール　CH_3OH〔メチルアルコール（メタノール)、特級〕
メタノール、カールフィッシャー用　一般試験法の水分定量法に定めるところによるものとする。
メタノール製５％水酸化ナトリウム試液　水酸化ナトリウム５g（4.5～5.4g）を水５mLに溶かし、メタノールを加えて100mLとする。放置した後、上澄液を用いる。
メタリン酸　HPO_3〔特級〕
メタリン酸・酢酸試液　メタリン酸15g（14.5～15.4g）及び氷酢酸40mLに水を加えて溶かし、500mLとする。冷所に保存し、２日以内に使用する。
DL-メチオニン、定量用　DL-メチオニン製造用原体。ただし、乾燥した後定量するとき、DL-メチオニン（$C_5H_{11}NO_2S$）99%以上のものに限る。
メチルイソブチルケトン　$CH_3COCH_2CH(CH_3)_2$〔特級〕
メチルエチルケトン　$CH_3COC_2H_5$〔特級〕
メチルオレンジ　$C_{14}H_{14}N_3NaO_3S$〔特級〕　変色範囲pH（赤）3.1～4.4（橙黄）
メチルオレンジ試液　メチルオレンジ0.1g（0.05～0.14g）に水100mLを加えて溶かす。必要ならば、ろ過する。
メチルオレンジ・キシレンシアノールFF試液　メチルオレンジ１g（0.5～1.4g）及びキシレンシアノールFF1.4g（1.35～1.44g）に希エタノール500mLを加えて溶かす。
メチルセロソルブ　エチレングリコールモノメチルエーテルの項に定める。
メチルレッド　$C_{15}H_{15}N_3O_2$〔特級〕　変色範囲pH（赤）4.2～6.2（黄）
メチルレッド試液　メチルレッド0.1g（0.05～0.14g）にエタノール100mLを加えて溶かす。必要ならば、ろ過する。
メチレンブルー　$C_{15}H_{18}ClN_3S \cdot nH_2O$〔メチレンブルー（２水塩，３水塩，４水塩)、特級〕
メナジオン亜硫酸水素ジメチルピリミジノール、定量用　メナジオン亜硫酸水素ジメチルピリミジノール製造用原体。ただし、定量するとき、換算した脱水物に対しメナジオン亜硫酸水素ジメチルピリミジノール（$C_{17}H_{18}N_2O_6S$）94.5%以上のものに限る。
メナジオン亜硫酸水素ナトリウム、定量用　メナジオン亜硫酸水素ナトリウム製造用原体。ただし、定量するとき、換算した脱水物に対しメナジオン亜硫酸水素ナトリウム（$C_{11}H_8O_2 \cdot NaHSO_3$）93.5%以上のものに限る。
メリビオース　$C_{12}H_{22}O_{11} \cdot H_2O$
比旋光度　$[\alpha]_D^{20}$＝＋141.2～＋141.8°
水分　3.5～5.5%
メルチトース　$C_{18}H_{32}O_{16} \cdot H_2O$
溶状　本品１g（0.5～1.4g）に水20mLを加えて溶かすとき、溶液は、僅かに微濁する、又はほとんど澄明である。
強熱残分　0.2%以下
水分　2.5～4.5%
フェーリング溶液還元物質　本品0.5g（0.45～0.54g）に水10mLを加えて溶かし、さらに、フェーリング試液５mLを加え、３分間煮沸する。30分間放置したとき、溶液の色は変化しない。
メンブランフィルター（0.45μm）　繊維素誘導体よりなる多孔性フィルム状のろ紙で、ろ孔0.45μmのものを用いる。
メンブランフィルター（0.8μm）　繊維素誘導体よりなる多孔性フィルム状のろ紙で、ろ孔0.8μmのものを用いる。
モリブデン酸アンモニウム　$(NH_4)_6Mo_7O_{24} \cdot 4H_2O$〔特級〕
モリブデン酸アンモニウム試液　モリブデン酸アンモニウム21.2g（21.15～21.24g）に水を加えて溶かし、200mLとする（10%)。用時調製する。
モリブデン酸アンモニウム・タルトラトアンチモン(Ⅲ)酸カリウム・アスコルビン酸試液　モリブデン酸アンモニウム６g（5.5～6.4g）及びタルトラトアンチモン(Ⅲ)酸カリウム0.24g（0.235～0.244g）を水約300mLに溶解し、硫酸（２→３）120mLを加えた後、水を加えて1,000mLとする。別に、アスコルビン酸14.4g（14.35～14.44g）を水に溶かし、200mLとし、両液を混和する。用時調製する。
モリブデン酸ナトリウム　$Na_2MoO_4 \cdot 2H_2O$〔特級〕
ヨウ化亜鉛デンプン紙　新たに調製したヨウ化亜鉛デンプン試液に定量分析用ろ紙を浸し、清浄な室で乾燥して調製する。共栓瓶に入れ、光及び湿気を避けて保存する。
ヨウ化亜鉛デンプン試液　水100mLを加熱して煮沸し、これにヨウ化カリウム0.75g（0.745～0.754g）を水５mLに溶かした溶液及び塩化亜鉛２g（1.5～2.4g）を水10mLに溶かした溶液を加え、溶液が沸騰している間にデンプン５g（4.5～5.4g）を水30mLに均質に懸濁した溶液をかき混ぜながら加え、２分間煮沸した後、冷却する。密栓して冷所に保存する。
感度　0.1mol/L亜硝酸ナトリウム溶液１mL、水500mL及び塩酸10mLの混液に浸したガラス棒を本液に接するとき、明らかに青色を呈する。
ヨウ化カリウム　KI〔特級〕
ヨウ化カリウム試液　ヨウ化カリウム16.5g（16.45～16.54g）に水を加えて溶かし、100mLとする（１mol/L)。遮光して保存する。用時調製する。
ヨウ化カリウム試液、濃　ヨウ化カリウム30g（29.5～30.4g）に水70mLを加えて溶かす。遮光して保存する。用時調製する。
ヨウ化カリウムデンプン紙　新たに調製したヨウ化カリウムデンプン試液にろ紙を浸し、清浄な室で乾燥して調製する。共栓瓶に入れ、光及び湿気を避けて保存する。
ヨウ化カリウムデンプン試液　ヨウ化カリウム0.5g（0.45～0.54g）を新たに調製したデンプン試液100mLに溶かす。用時調製する。
溶性デンプン　〔特級〕
溶性デンプン試液　溶性デンプン１g（0.5～1.4g）に冷水10mLを加え、よくすり混ぜ、熱湯90mL中に絶えずかき混ぜながら徐々に注ぎ込み、３分間緩やかに煮沸し、冷却する。用時調製する。
ヨウ素　I_2〔特級〕
ヨウ素・アセトン試液　ヨウ素10g（9.5～10.4g）及びヨウ化カリウム６g（5.5～6.4g）を乳鉢で混和し、水10mLに溶かし、90%エタノールを加えて100mLとする。この溶液3.5mLを量り、アセトンを加えて100mLとする。
ヨウ素酸カリウム・デンプン紙　0.2%KIO_3溶液及びデンプン試液の等容量混液に定量用ろ紙を浸し、暗所で風乾する。遮光し、密栓して保存する。
ヨウ素試液　ヨウ素14g（13.5～14.4g）をヨウ化カリウム溶液（２→５）100mLに溶かし、希塩酸１mL及び水を加えて1,000mLとする（0.1mol/L)。遮光して保存する。
ヨウ素酸カリウム　KIO_3〔特級〕
ヨウ素酸カリウム（標準試薬）　KIO_3〔容量分析用標準試薬〕
ヨウ素・ルゴール試液　ヨウ素５g（4.5～5.4g）及びヨウ化カリウム10g（9.5～10.4g）を乳鉢で混和し、水に溶かし、100mLとする。用時、水で５倍に希釈して用いる。
ライネッケ塩　$NH_4[Cr(NH_3)_2(SCN)_4]H_2O$〔１級〕
ライネッケ塩試液　ライネッケ塩0.5g（0.45～0.54g）に水20mLを加え、１時間しばしば振り混ぜ、ろ過する。48時間以内に使用する。
酪酸　$CH_3CH_2CH_2COOH$〔特級〕